

2020年3月18日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、ムービングホログラムと手触りで瞬時に真贋判定
どの角度でも視認可能なムービングホログラムと高精細で強い凹凸表現により
高いセキュリティを提供。「JCB ギフトカード」と「JTB ナイスギフト」で採用。

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:麿 秀晴、以下 凸版印刷)は、商品券やパスポートなど、さまざまな重要印刷物に使用される偽造防止技術を開発・提供してきました。

このたび凸版印刷は、従来培ってきた技術を応用し、さまざまな角度から見ても視認性を損なわないムービングホログラムと、高精細な凹版印刷技術を開発。「JCB ギフトカード」「JTB ナイスギフト」に採用され、2020年3月より提供を開始します(※1)。

今回開発したムービングホログラムは、凸版印刷独自の技術を応用し、券面を上下左右に傾げるだけでさまざまな角度から立体イメージの動きを目視でき、視覚での真贋判定を容易に行うことができます。また、今回開発した凹版印刷技術は、従来よりも高精細な凹凸パターンを印刷することができるため、偽造が難しく、手触りではっきりわかる凹版印刷を施すことで触覚による真贋判定も容易に行うことができます。

これらの技術を商品券に活用することで、高い意匠性とセキュリティ性を両立。本物との比較やルーペ等を使用して判別していた従来よりも視覚と触覚で容易に判別でき、真贋判定時間を短縮できます。さらに、従来培ってきた印刷技術を活用し、よりセキュリティ性の高いギフトカードを提供することが可能です。



商品券のイメージ

■ 開発の背景

近年、ギフトカードや商品券などを偽造する技術レベルが向上しており、一見ただけでは本物と偽物の区別が難しい偽造券・模造品が増加しています。また、従来のホログラムや地紋・彩紋などの微細印刷も偽造されており、本物との比較やルーペ等を使用して判別する必要があるなど、真贋判定に手間と時間がかかる場合があることが課題となっています。

このような中で凸版印刷は、さまざまな角度から見ても視認性を損なわないムービングホログラムを開発。また、券面に手触りではっきりわかる凹版印刷も施しており、視覚と触覚で容易に真贋判定でき、判別にかかる手間と時間を短縮することが可能です。

■ 特長

・さまざまな角度から見ても視認性を損なわないムービングホログラム

凸版印刷独自の光学設計・描画技術により、さまざまな角度から見ても立体イメージの動きが目視できるムービングホログラムのため、視覚で容易に真贋判定を行うことができます。

・手触りではっきりわかる凹版印刷で触覚による真贋判定が容易に可能

細かい印刷加工で偽造が難しく、ざらざらとした手触りがはっきりとわかる凹版印刷を施しており、触覚による真贋判定が容易に可能です。加えて、凹版印刷は有価証券などに使われているセキュリティ印刷であり、オフセット印刷などの代替手法では独特な手触りを再現することは極めて困難なため、セキュリティ性の向上と真贋判定時間の短縮を実現します。

・複数のセキュリティ技術を組み合わせることによる耐偽造性の向上

券面を傾けると隠れていたパターンが現れて見える凹版潜像や肉眼では見えない不可視印刷、最新のデジタルセキュリティ技術の実験導入など複数の偽造防止技術を施すことで、ギフトカードとしては国内最高レベルのセキュリティ性を保つことができます。

■ 今後の目標

凸版印刷は、商品券やギフト券などの有価証券に向けて、今回開発したムービングホログラムと凹版印刷技術の導入を進め、2021年までに偽造防止技術やセキュリティ技術など関連受注を含め30億円の売り上げを目指します。また、商品券・ギフト券などの有価証券に限らず、証明証や身分証等の重要印刷物や海外輸出品の模倣品対策ラベルへの展開を進め、さまざまなものの偽造防止に貢献します。

(※1)株式会社JTBは「JTB ナイスギフト」をHPで2020年4月1日より受付注文を開始し、店舗では順次切り替えを行います。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上